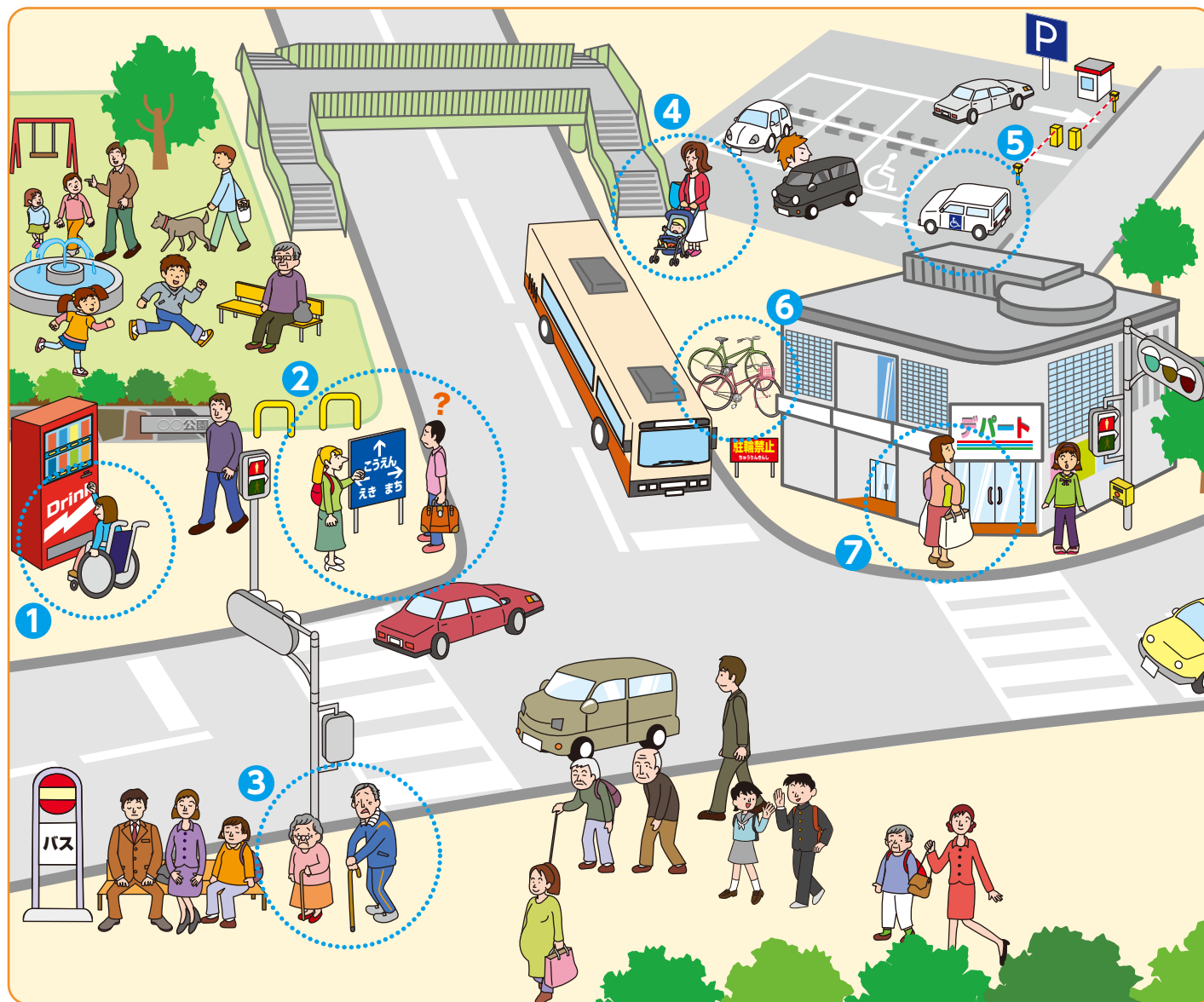




①自動販売機は、商品を選ぶボタンやお金の投入口が低い位置、商品を取り出し口が高い位置にあると、車いすの人でも使えます。

②外国人の人でも分かりやすい案内板は、日本語だけではなく、数種類の外国語で書かれていると、理解しやすくなります。

③ベンチに座れずに困っているお年寄りや障がい者を見かけたら、思いやりの気持ちで席をゆずりましょう。

④ベビーカーや車いすなどは、段差があるところを進むことは難しいため、スロープがあるとスムーズに進むことができます。

⑤「思いやり駐車場」は、歩行が困難な人の駐車スペースを確保するものです。それ以外の人を使うことはやめましょう。

⑥通行の妨げになる場所へ自転車を停めることはやめましょう。

⑦両手が自由に使えない状況の人がいたら、思いやりの気持ちで手助けしてあげましょう。